

第 77 回 「松江城部会」ミニレポート

平成 30 年度の第 1 回松江城部会が、2018 年 9 月 2 日（日）の午前中に開催されました。

松江城部会は『松江市史』別編 1「松江城」（以下『松江城』）を 3 月 25 日に刊行したので、今回の部会では刊行後の活動などを中心に話し合いが行われました。今年度は、『松江城』を松江市民や松江城見学者により分かりやすくコンパクトに読んでいただけるように、ブックレットを作成する事になりました。

「松江城ブックレット」の第一弾として、2019 年 3 月に刊行を予定しているのは、『松江城を掘る～発掘調査半世紀の成果～』です。史跡松江城や松江城下町遺跡を知り尽くした岡崎雄二郎先生が、松江城の発掘調査についてわかりやすく解説しておられます。

「松江城ブックレット」は、A5 版 50 頁のコンパクトな本です。史跡松江城の散策のお供におすすめの 1 冊です。同シリーズでは、この他に

- 『松江城の基礎知識』
- 『松江城天守』
- 『松江の中世城館と松江城』
- 『松江城の刻印について』
- 『城下町と松江城下町遺跡』
- 『松平家墓所について（大名墓）』

などの発刊を予定しています。

部会ではその他、赤名瀬戸山城（飯石郡飯南町）の石垣や城下の再調査、松江城天守の古材調査、昭和大修理時の諸図面「松江城天守復原図」に記載された「千鳥破風」の検討など、今後調査・研究すべきことについて話し合われました。調査・研究の成果は、「松江城ブックレット」、「松江市歴史叢書」、「ふるさと文庫」などで報告する予定です。

午後からは、「武家屋敷」と「松江城天守」の見学会が行われました。

保存修理が7月に終了した武家屋敷では、和田嘉宥先生が「武家屋敷修理前平面図」を配布して、詳しく説明してくださいました。

また、先日展示物が一新された松江城天守でも、『松江城』で天守について執筆していただいた和田先生が説明をして下さいました。松江城部会の先生方は、部材、柱の番付などを興味深く見学しておられました。その他に、松江城の石垣、松江神社の鳥居、興雲閣なども見学されました。



見学会の風景、【左】武家屋敷、【中】松江城の石垣、【右】松江神社の鳥居

今回の見学会は、今後の松江城の調査・研究のきっかけになったように思いました。見学会終了後に、石垣などの調査をされる先生もおられました。

部会と見学会が行われた9月2日は、前日の時折小雨の降る曇り空と打って変わって、爽やかな晴天でした。武家屋敷見学中の先生から「空の青と木々の緑が綺麗ですね」と言っていただいて、とてもうれしく思いました。先生は空と木々を写真に収めておられました。

最後に、来年の松江城部会の活動予定についてお知らせします。2019年8月17日（土）と10月19日（土）の「松江市史講座」で、松江城部会の先生方の講演を予定しています。松江城部会の今後の活動にご期待ください。

（松江市史料編纂課／石塚晶子／2018年9月19日記）